

24時間以内完歩!

SUN-IN未来100キロウォーク

日韓90人、中部巡る

「第2回SUN-IN N未来100キロウォーク」(未来ウォーク実行委員会主催)が9日、湯梨浜町の中国庭園燕趙園を発着点にスタート。制限時間は24時間。韓国からの参加者を含む約90人が元気よく出発した。湯梨浜町から三朝町、倉吉市、北栄町と

歩き、琴浦町の鳴り石カフェで折り返すコース。参加者の条件は100キロを時速5・5キロ以上か、24時間以内で完歩できる人で、個人かまたは5人一組でたとした。制限時間は24時間。韓国からの参加者を含む約90人が元気よく出発した。

昨年に続いて2回目の開催で、日韓交流ウォーク大会と位置付けられており、韓国

NPO法人未来の岸加している。



元気よくスタートする参加者ら=9日、湯梨浜町の中国庭園燕趙園前

田寛昭理事長らのあいさつに続いて参加者が元気よく出発した。岡山県津山市の大西三郎さん(60)は昨年に続いての参加で、「15時間で歩きたい」と燃えていた。

鳥取短期大学学長で県の山田修平氏が就任して、今後構成団体が連携をとりながらウォーキングを通じた観光などを発展を図ることを確認した。

中部5市町など協議会を設立にはこのほか県内中部医師会や観光関係団体、経済団体、ウォーキング関係団体など19団体が参加。活動を通じてウォーキングリゾート実現に向けた機運を醸成することなどを確認し、参加団体の一つであるNPO法人未来(岸田寛昭理事長)が来(岸田寛昭理事長)が働き掛けを進めている

ワールドトレイルカンファレンスの2016年鳥取県誘致に協力することなどを確認した。山田会長は「互いに情報を共有し、助け合い、一緒に新たなことをするなどしていい中部をつくりたい」と述べた。